

もりたび 1 森と生きもの

森や里山ではいろいろな木が育ち、生きものがたくさんすんでいます。それはどうしてでしょう？ マモルンと一緒に森を歩いてみると、その答えが見つかりそうです。

森は生きものたちの楽園

森にすむ生きものといえば、クマやシカ、ウサギやリスなどが頭に浮かんできます。そして、ウグイスなどの小鳥、カブトムシなどの昆虫へびなどの爬虫類、カエルなどの両生類もいます。土の中にはミミズや微生物もいます。もちろん、草や花、木などの植物も生きています。

森にすむあらゆる生きものは、森という環境を土台にしてつながっています。そして、森も生きものがいるからこそ、その環境を維持できたり、再生をくりかえしたりすることができなのです。

落ち葉をめくったり、葉っぱの裏を見たり、倒れた木のまわりを探検したり…。森の中で生き物をさがしてみると、とてもワクワクして楽しいと思うよ。もっと森や里山で遊んでほしいな。



木の妖精
【マモルン】



ヒノキ

木が持つている
色々な特性や役割

森の木の種類には、針のような細い葉の針葉樹と、幅広い葉の広葉樹の2つがあります。また、一年中ずっと葉が緑色の常緑樹と、秋になると葉が赤くなって落ちる落葉樹という分け方もあります。針葉樹のスギやヒノキはまっすぐ育つため、建物の材料などによく使われています。広葉樹のコナラやクヌギが落とすドングリは、生き物たちの大切な食べものにもなっています。



コナラ



ムクゲ



イロハモミジ



ツバキ



イチョウ



コミネカエデ



イヌマキ

それじゃあ、
葉っぱを
見てみよう。

【マナブくん】

針葉樹と
広葉樹は
どう違うの？

森の木も
いろいろな
種類があるよね。



【モリちゃん】

葉っぱとミミズの素敵な関係

森の地面にある落ち葉の下には、ミミズやダンゴムシなどの小さな生きもの、目に見えないバクテリアなどの微生物がたくさんいます。この地面や土の中にすむ生きものたちは、動物のふんや落ち葉などを食べて細かくしています。それはやがて土の一部になり、植物にとっては天然の肥料となっています。だから、落ち葉で地面がふわふわしていて、生きものがたくさんいる森は元気なのです。

この土って
クッション
みたい。

土なのに
ふわふわ
しているわ。

この落ち葉が、
森を育てて
いるんだよ。



ダンゴムシ

ゴミムシ

ミミズ

マイマイカブリ

カタツムリ

森と動物のバランスが大切です。

植物の葉はチョウやガの幼虫や、ウサギなどの草食動物が食べます。そのチョウやガは、小鳥やネズミなど小さな肉食動物が食べ、さらにそれをへびやイタチ、キツネ…と大きな肉食動物が食べて生きています。そして、昆虫や動物は死んだあと、地面や土の中にすむミミズや微生物などによって植物が育つ栄養になります。これを森の「食物連鎖」といいます。

この食物連鎖はバランスが大切です。バランスがよければ元気な森ですが、このバランスがくずれると元気がない森になります。食物連鎖の仕組みは大切なのです。

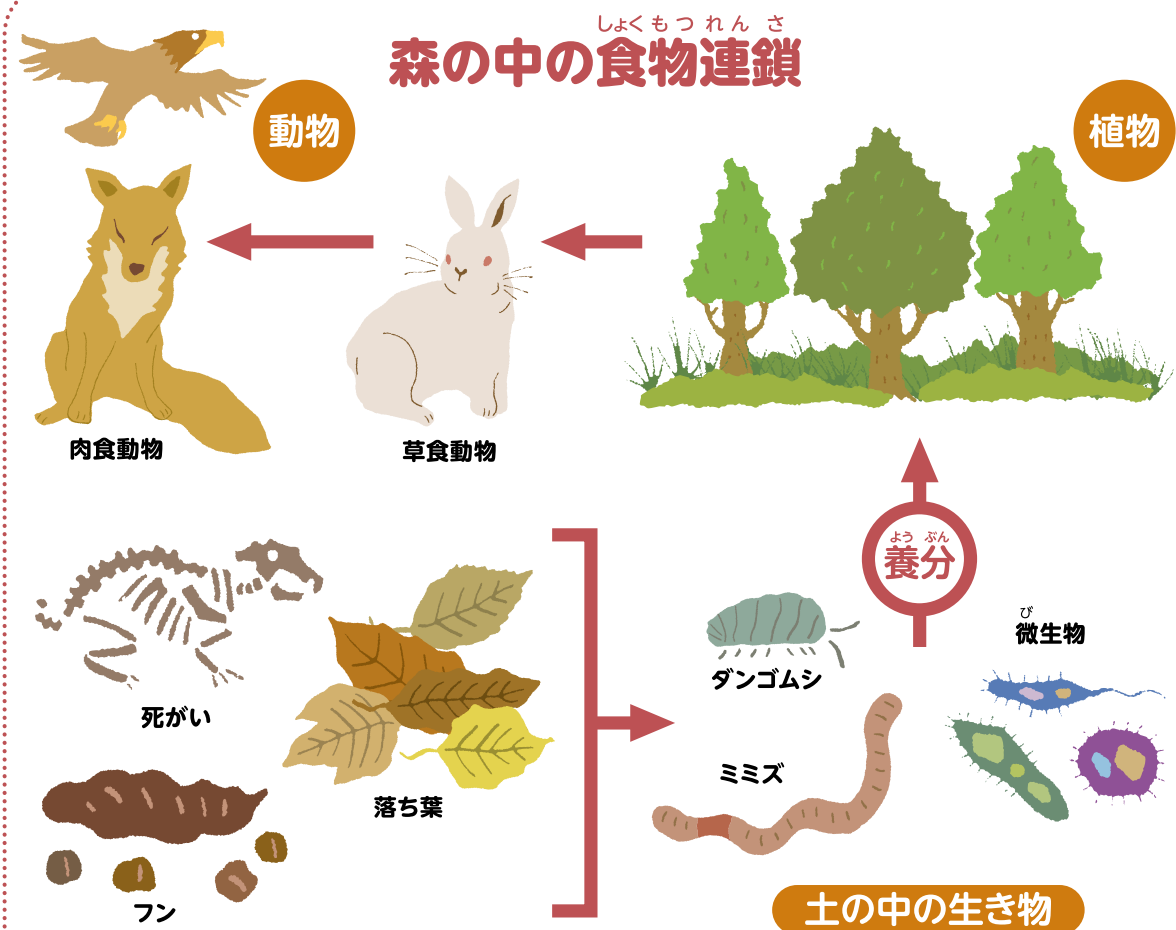
葉っぱが
だいじなんだね。

動物に葉っぱを
たべられると
こまっちゃうね。

そうじゃないよ、
動物もいないと
森が死んじゃ
うんだ。



森の中の食物連鎖



●学習指導要領とのリンク

【理科】【全学年共通】生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。

【生活】【第1・2学年】身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しもうとする。

【道徳】【第3・4学年】主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

【第5・6学年】主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること